


**受講
受付中**
**専門家による
知識学習**
**オンライン
開催**
講座のご案内

消防職員の 惨事ストレス初級研修 第28期

筑波大学働く人への心理支援開発研究センター

趣旨 消防職員や警察官などの災害救援者が、悲惨な現場活動後にストレス症状（惨事ストレス）を起こすことは広く知られるようになってきました。職員の惨事ストレス対策の必要性が認識されていますが、多くの消防本部では、身近に専門家がない、研修の場がないなどの理由で、十分な対策を準備できない現状にあります。

本研修は、消防職員の惨事ストレスに関する知識の学習とグループミーティングの基礎的な実習などを通して、消防職員の惨事ストレス対策を推進する要員を養成することを目的とします。

本研修は、東京消防庁のデブリーファ養成研修及びイギリス海軍の惨事ストレス対策（TRiM）における研修内容を骨格にしています。講師の多くは東京消防庁などで講義や実習を講じた経験をもっています。

開催日程 開催日：2021年9月25日（土）・26日（日）全2日間
 開催方法：リアルタイム配信（Zoom 使用）

9月25日（土）	内容	講師
9:00～9:10	オリエンテーション	岡田 昌毅・松井 豊
9:10～10:10	惨事ストレスとは	松井 豊
10:20～12:20	消防職員のストレス	大塚 泰正
13:20～15:20	惨事ストレス反応と対策	松井 豊
15:30～18:00	傾聴の基礎実習 1	安藤 智子
18:00～18:30	ディスカッション	松井 豊
9月26日（日）	内容	講師
9:00～10:30	傾聴の基礎実習 2	原 恵子
10:40～12:00	外傷体験への介入	松井 豊・東京消防庁有志
13:00～14:00	グループミーティング理論	松井 豊
14:10～17:20	グループミーティング実習	東京消防庁有志・幾田・松井
17:20～17:30	ディスカッション・修了証書授与	原 恵子・松井 豊

受講対象者 消防職員の惨事ストレス対策を担当する職員（原則として消防吏員か消防学校の職員）対象
 一事業所一名の参加制限を無くし、複数名の参加を可能とします。
 参加には、1名1台のパソコンを利用した参加を条件とします。
 お申込みは事業所単位で申し込み可能ですが、受講料は人数分のお支払いをお願い致します。

受講人数 先着 28 名まで（最低開講人数 14 名）

受講費用 30,000 円（税込）

修了証発行：2 日間受講され、すべての実習に参加された方には、筑波大学発行の受講修了証が授与されます。
 ただし、未受講科目がある方や早退される方には発行できません。

**お申し込み
お問い合わせ**

筑波大学エクステンションプログラム [消防職員の惨事ストレス初級研修 第28期]
 〒305-8550 茨城県つくば市春日 1-2
 高細精医療イノベーション棟 1F（受付時間：月～金9:30～17:00）**Tel:029-859-1648**
 お申し込みは HP にて <http://extension.sec.tsukuba.ac.jp>


お申し込み締切
**2021.
8.25 水**

 先着 **28** 名まで